

安全データシート

ナラシン

1. 化学物質及び会社情報

化学物質の名称 : ナラシン
会社名 : ニッチク薬品工業株式会社
住所 : 神奈川県綾瀬市早川 2630 番地
担当部署 : 品質保証部
電話番号 : 0467-78-0831
FAX 番号 : 0467-76-1016
緊急連絡先 : 同上

2. 危険有害性の要約

ヒト及び環境に対するリスク

分類の名称 : 急性毒性物質（医薬用外劇物）

GHS 分類

健康に対する有害性 : 急性毒性，経口 区分 4
皮膚腐食性／刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
呼吸器感作性 区分 1
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 区分 1

環境に対する有害性 : 長期継続的影響により水生生物に有害 区分 3

ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー，喘息又は呼吸困難を起こすおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による臓器（心臓、神経系、筋肉）の障害

長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

粉じんの吸入を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

吸入した場合：呼吸が困難な場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

物質の特定

製品の用途 : 飼料添加物

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量 : ナラシン 100 g (力価) /kg

賦形物質等として、もみがら粉末、流動パラフィン（1～3%）を含む。

化学式 : $C_{42}H_{72}O_{11}$ (ナラシン) CAS No. 55134-13-9

CAS No. 8012-95-1 (流動パラフィン)

官報公示整理番号 (化審法・安衛法) : 安衛法：名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物別表第 9 の 168 (鉱油)

国連分類及び国連番号 : -

4. 応急措置

一般的注意

: ばく露があった場合もしくはばく露の疑いがあり体調がすぐれない場合、医師に相談／診察を受けること。可能であれば本書を見せること。

吸入した場合

: 本製品の剤型は粗い顆粒状であり、エアロゾル化しにくいため、吸入により有毒ではないと考えられる。吸入した場合、直ちに新鮮な空気の場合に移動する。必要に応じて酸素マスクや人工呼吸器を使用する。直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合	: 接触した部分の皮膚を直ちに多量の水と石鹼で洗浄する。汚染された衣服や靴は替え、再使用前によく洗浄する。刺激性が認められた場合、医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	: 直ちに水で 15 分以上洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに洗うことにより、持続性の傷害を避けられる可能性。医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: コップ数杯の水を飲ませること。意識のない場合や痙攣を起こしている場合には、何も飲ませないこと。直ちに医師の手当てを受ける。
最も重要な症状/所見 (急性及び遅延性)	: 重篤な眼の刺激性。皮膚刺激。吸入によりアレルギー反応、喘息様症状もしくは呼吸困難を起こす可能性。心拍数や鼓動の変化。
応急処置をする場合 の注意	: 眼: 直ちに洗うことにより、持続性の傷害を避けられる可能性。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水, 二酸化炭素, 粉末消火剤。
不適切な消火剤	: 知られていない。
火災時の特有な	: 過剰な熱または火災により有害な分解物を発生する可能性が危険ある。
有害性	: 粉じんにより爆発性混合物を生じる可能性に注意する。
消火活動時の保護具	: 消火作業の際は、適切な自給式呼吸器及び保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人に対する注意	: 皮膚, 眼, 衣服への接触を避ける。適切な保護衣, 保護手袋及び保護眼鏡/保護面を着用すること 8. ばく露防止措置 に記載の保護具を参照のこと。
環境に関する注意	: 水生環境への流入を避ける。漏出物が付近の地面, 河川, 湖水や池などに流出しないよう注意すること。
回収及び浄化の方法	: <u>少量の漏出</u> ほうき等で掃かないこと。漏出物は可能な限り集塵フィルター付きの掃除機で吸い取る。電気機器を使用する場合は、粉じん爆発の可能性には十分に注意すること。掃除機がない場合、漏出物を湿らせた後、モップ等で拭き取ること。

多量の漏出

漏出物が排水溝，下水，河川等に流入しないよう注意する。
火の元となるものを遠ざける。迅速な廃棄のために適切な
容器に回収する。交通事故等による多量漏出の際は警察へ
の通報並びに，1. **製品及び会社情報に記載の販売業者**への
通報を行うこと。

7. 取扱い及び保管上の措置

毒物劇物取締法の定めるところに従う。

取扱い : 説明書等を必ず読み，記載事項を守ること。
馬や七面鳥の成鳥には致死的となり得るのでこれらの動物
が間違っ取ししないように注意する。産卵鶏にも給与し
ないこと。眼に入らないように注意し，皮膚や衣服への付着
を避けること。作業後は手をよく洗うこと。粉じんの発生と
蓄積を最小限とする。熱や火の元を避けること。環境への漏
出を避ける。

保管 : 容器は密封し，適切な換気のある乾燥した涼しい場所に保管
する。混触危険物や高温，直火から離す。酸化性物質との接
触を避ける。表示のない，あるいは開封された容器で保管し
ないこと。

8. ばく露防止措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 日本産業衛生学会（2016 年度版）：

	粉じんの種類	吸入性粉じん	総粉じん
第 2 種粉じん	穀粉	1 mg/m ³	4 mg/m ³

ACGIH : 賦形物質による穀物粉じん 4 mg/m³ TWA

流動パラフィン (CAS 8012-95-1) 5mg/ m³ TWA

ばく露ガイドライン : ばく露限界値 : ナラシン (CAS 55134-13-9) 11 µg/m³ TWA
12 時間 (TWA : 時間加重平均)

生物学的限界値 : 設定されていない。

設備対策 : 毒物及び劇物取締法に基づいて適切な設備対策を行う。ドラ
フト，換気付き囲い，局所排気装置もしくは下降気流の区画
などの適切な対策を行う。

保護具

眼／顔の保護具 : 側面遮蔽型の保護眼鏡 (EN166 に適合する)，ゴーグル型保

	護眼鏡，保護面。
手の保護具	: 皮膚との接触を避ける不浸透性手袋，化学薬品耐性手袋 (EN374 に適合する)
皮膚及び身体の保護具	: 皮膚との接触を避ける耐薬性手袋及び不浸透性の作業衣（上・下），保護帽子，安全靴等。
呼吸用保護具	: 承認されている防じんマスクを使用すること。本品の物理的性質に対応する適切な呼吸器保護具を選択すること。
衛生基準	: 本品を取り扱う際には適切な職業衛生基準に従って行う。 製造所においては，皮膚との接触を避けるため耐薬性手袋及び保護衣を着用すること。実験室内のような適切な換気のある閉鎖されている空間での取り扱いにおいては呼吸マスクやゴーグル／保護面の着用は必須ではない。安全メガネは着用すること。 通常の使用状況においては皮膚への接触を避ける保護衣や不浸透性手袋，防じんマスクを着用すること（推奨）。取扱い後は手を水と石鹼でよく洗うこと。万が一眼に入った場合，直ちに大量の水で洗うこと。
環境ばく露対策	: 漏れや流出を避け，排出物については地方公共団体条例等を遵守すること。環境中に流出した場合は責任者に報告すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 灰褐色～褐色又は黄白色～黄色の粒子。
臭い	: 知見なし。
pH	: 知見なし。
融点/凝固点	: 知見なし。
沸点	: 知見なし。
引火点	: 知見なし。
蒸発速度	: 知見なし。
可燃性（固体，気体）	: 試験データなし。
爆発/可燃限界上限/下限	: 知見なし。
蒸気圧	: 知見なし。
蒸気密度	: 知見なし。
相対密度	: 知見なし。
溶解度	: 知見なし。
n-オクタノール/水分	: 知見なし。

配係数

自然発火温度	: 知見なし。
熱分解温度	: 知見なし。
比重	: 知見なし。
爆発性	: 爆発性はない。
酸化性質	: 酸化性質はない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 水に反応性ではない。
化学的安定性	: 通常の保管条件下で安定。
危険有害反応性	: 危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	: 知られていない。
混触禁止物質	: 強酸化性物質。
有害な分解生成物	: 火災により、有害な分解生成物の発生が想定される。

11. 有害性情報

急性毒性

飲み込むと有害。

本製品の剤型は粗い顆粒状であり、エアロゾル化しにくいいため、吸入により有毒ではないと考えられる。

モンテバン 100

急性経皮毒性	: ウサギ LD ₅₀	5000 mg/kg	死亡なし、毒性なし。
急性経口毒性	: ラット LD ₅₀	331 mg/kg	

ナラシン (CAS 55134-13-9)

急性経皮毒性	: ウサギ LD	>500 mg/kg	死亡なし、毒性なし。
急性吸入毒性	: ラット LC ₅₀	87 mg/m ³ , 4 時間	
急性経口毒性	: ラット LD ₅₀	26.9 mg/kg	

皮膚腐食性／刺激性 : ウサギ…重度の皮膚刺激性

眼刺激性 : ウサギ…重度の眼刺激性。ばく露直後の洗浄により持続性の傷害を避けられる可能性がある。

呼吸器感作性 : 吸入による感作性の可能性 (穀物粉じん)。

皮膚感作性 : 実験動物での試験において感作性なし。既存のデータでは区分には該当しない。

変異原性 : 陰性。既存のデータでは区分には該当しない。

がん原性 : 発癌性無しと判断されている。既存のデータでは区分には該当しない。

生殖毒性	: 動物試験において影響なし。既存のデータでは区分には該当しない。
特定臓器への特異的な毒性 (単回ばく露)	: 動物試験において影響なし。既存のデータでは区分には該当しない。
特定臓器への特異的な毒性 (反復ばく露)	: 動物試験において次のような影響が報告されている。: 中枢神経系。痙攣, 振戦。心臓への影響。心拍数や鼓動の変化。骨格筋への影響。
吸引性呼吸器有害性	: 吸引毒性区分ではない。

12. 環境影響情報

環境生物毒性情報	水生生物に毒性が高く, 影響が長時間続く。	
土壌生物毒性	: ミミズ LC ₅₀	>100 ppm, 14 日間 (Eisenia fetida)
藻類毒性	: 緑藻 EC ₅₀	2.92 mg/L, 72 時間 (Pseudokirchnerella subcapitata)
	: 緑藻 EC ₅₀	0.77 mg/L, 72 時間 (バイオマス)
鳥類毒性	: カモ LC ₅₀	3800 mg/L, 5 日間 (混餌)
	ウズラ LC ₅₀	630 mg/L, 5 日間 (混餌)
		73.96 mg/kg, 14 日間 (雄)
		70~100 mg/kg, 14 日間 (雌)
魚毒性	: ブルーギル LC ₅₀	3.27 mg/L, 96 時間
	ニジマス LC ₅₀	1.4~2 mg/L, 96 時間
ミジンコ毒性	: ミジンコ EC ₅₀	7.72 mg/L, 48 時間
環境からの消失情報 (残留性及び分解性)		
分解性	: 土壌での半減期は砂質, 沈泥, 埴壤土においてそれぞれ 21, 49, 29 日。 土壌微生物: 炭素変換: 17.43 mg/kg で有意な影響なし。 光分解性半減期は水系環境で 1.5 日 (pH 7), 土壌で 8.8 日 加水分解半減期は 3.5 日 (pH 5)	
生物蓄積性	: Kow \geq 4	
	n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)	>6.2 (HPLC) 4.85 (pH 8)
土壌内の移動性	: 吸着性 log Koc	>5.63 (pH 4.5 及び 6)
生態毒性性質		
飲水ばく露	: 30 μ g/L	
水生生物への慢性ばく露	: 15.5 μ g/L	
水生生物への急性ばく露	: 139 μ g/L	

13. 廃棄上の注意

漏出物・残留物・空容器などはすべて関連法規に基づき、都道府県知事等の許可を受けた産廃業者に処分を依頼する。環境や水系を汚染しないように注意すること。

14. 輸送上の注意

毒物及び劇物取締法の定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：劇物政令第 2 条第 1 項第 77 号の 2（ナラシン又はその塩類のいずれかを含有する製剤であって、ナラシンとして 10%以下を含有するもの。ただし、ナラシンとして 1%以下を含有し、かつ、飛散を防止するための加工をしたものを除く。）

労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物政令第 18 条の 2 別表第 9 の 168（鉱油）
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 別表第 9 の 168（鉱油）

毒物及び劇物取締法、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律（飼料安全法）、廃物処理法、地方公共団体条例等

16. その他の情報

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、これらの情報は本製品の取扱い、使用、加工、保管、輸送、廃棄を安全に行う指針となることのみを意図したものであり、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策をご実施ください。

引用文献 : エランコジャパン株式会社 安全データシート
モンテバン 100(ナラシン)
改定日 2017 年 7 月 3 日